



宇部多世代共働交流まちづくり (宇部CCRC) 構想

～暮らして良し、働いて良しの
市民が誇りを持てるまちづくり～



平成28年 3月

はじめに

本市では、平成 27 年 10 月に策定した「宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「新しい人の流れをつくる」を 5 つの基本目標の一つに位置づけています。この目標実現に向け、若者・子育て世代やアクティブシニア層等の U I J ターンを促進するため、豊かな自然環境に恵まれた工業都市として、また、福祉医療都市として、さらに、彫刻によるまちづくりを進めている都市として、これらの地域特性を踏まえた、人材の居住誘導を戦略的に取り組み、転入者の増加を図ることを目指しています。

その取り組みの柱の一つとして、本市の特徴である医療・介護施設・大学など充実した地域資源を活用し、様々な世代が共働・交流する宇部多世代共働交流まちづくり(宇部 C C R C)を実現するため、このたび基本構想を策定しました。

今後、この基本構想と次に策定する基本計画に基づき、住みたくなるまち、住んでよかったまちと言われるよう、魅力あふれるまちづくりを進め、市民が生涯健康で活躍できるまちを目指します。

平成 28 年（2016 年）3 月

目次

1	CCRC構想について	1
	(1) 「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）」構想	
	(2) 「宇部多世代共働交流まちづくり（宇部 CCRC）」構想	
2	宇部CCRC構想の位置づけ	2
3	宇部市の地域特性	3
	(1) 環境先進都市	
	(2) 交通環境	
	(3) 医療介護施設の充実	
	(4) フルラインナップの教育機関の充実	
	(5) 温暖で雨量の少ない瀬戸内海式気候	
	(6) アートのまち	
	(7) 雇用の促進、企業創業支援	
	(8) 地域支え合い包括ケアシステムの展開	
	(9) 子育て支援	
	(10) 生涯学習・生涯現役の実現	
4	宇部CCRC構想のコンセプト	6
	(1) 移住対象者	
	(2) 移住の形態	
	(3) 生活居住環境	
	(4) 提供サービス	
	(5) 地域との関係	
	(6) 運営主体	
	(7) 対象地域	
5	2つの拠点地域（モデル地域）	6
	(1) 中心市街地	
	(2) あすとぴあ地区	
	(3) 期待されるターゲット像と諸機能	
6	宇部CCRC構想の推進に向けた連携	9
7	今後のスケジュールの概要	10
8	参考	11

1 CCRC※構想について

(1)「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想

「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想は、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものです。

(2)「宇部多世代共働交流まちづくり（宇部CCRC）」構想

「宇部多世代共働交流まちづくり（宇部CCRC）」構想は、日本版CCRC構想をさらに拡大し、移住を促進する対象者を高齢者のみならず、若い世代も取り入れた「多世代対象」として、「暮らして良し、働いて良しの市民が誇りを持てるまちづくり」の実現を目指すものです。すなわち、アクティブシニアだけでなく、特に子育て世代を中心とした人たちの移住も促進し、医療福祉人材・クリエイティブ人材をはじめ、多様な人材を呼び込むこと、既存の施設等で多機能を集積する地域をつくり、既存の地域支えあい包括ケアシステムや子育て支援体制などと連携していくことを進めるという考え方です。（表1）

CCRC導入の効果としては、人口の増加のみならず、地域における新たな産業や関連分野における雇用の創出、さらに、多世代交流などを一体的に推進することにより、「ひと」と「しごと」の好循環が期待できます。

また、この取組をきっかけとして、地域の魅力の再発見や、さらなる掘り起こしを行い、他の施策や取組を巻き込みながら本市の維持・発展につなげていくとともに、移住者はもとより市民にとっても生涯活躍ができるまちづくりを進めることを目指します。

※CCRCとは、Continuing Care Retirement Communityの略で、高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービス等を受けながら生涯学習や社会活動等に参加する共同体です。

表 1 構想比較表

	従来の高齢者施設	日本版CCRC構想	宇部CCRC構想
居住の契機	主として要介護状態になってから	健康時から選択	若い健康時から選択
生活の様子	高齢者はサービスの受け手	仕事・社会活動・生涯学習などに積極的に参加（支え手としての役割）	医療・福祉の従事者や起業家などとして現役就労
地域との関係	住宅内で完結し地域との交流が少ない	地域に溶け込んで多世代と協働	地域支え合いの一員として活躍

2 宇部CCRC構想の位置づけ

図 1 宇部CCRC構想の位置づけイメージ

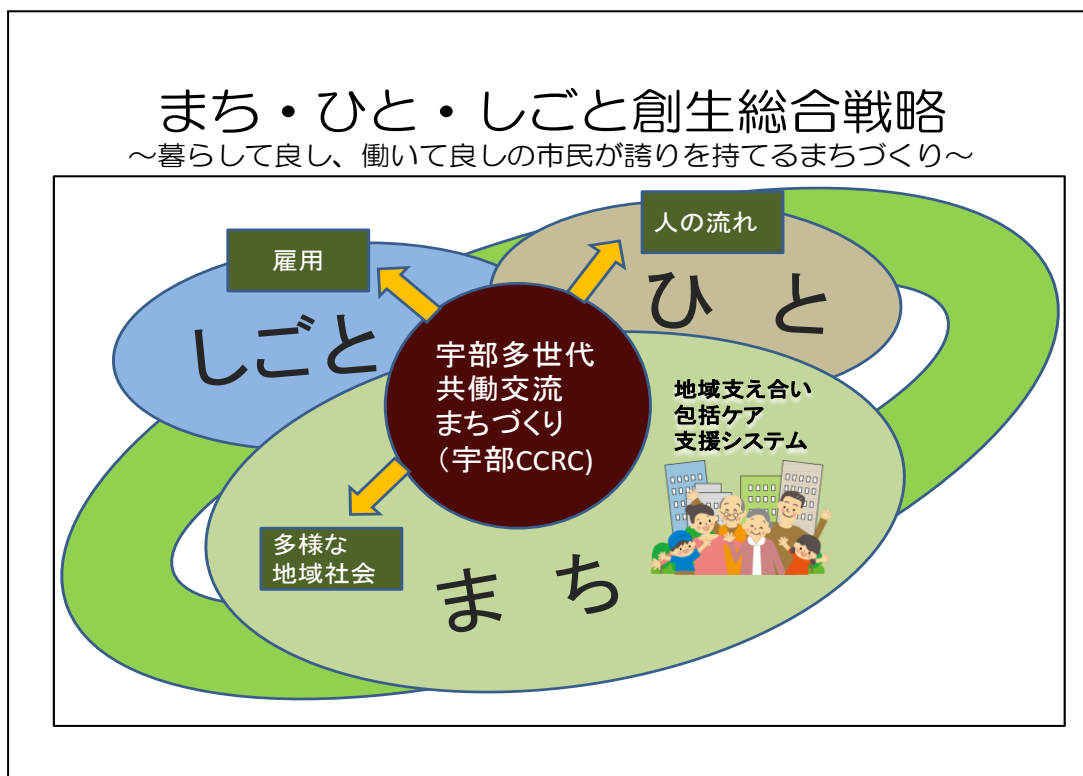
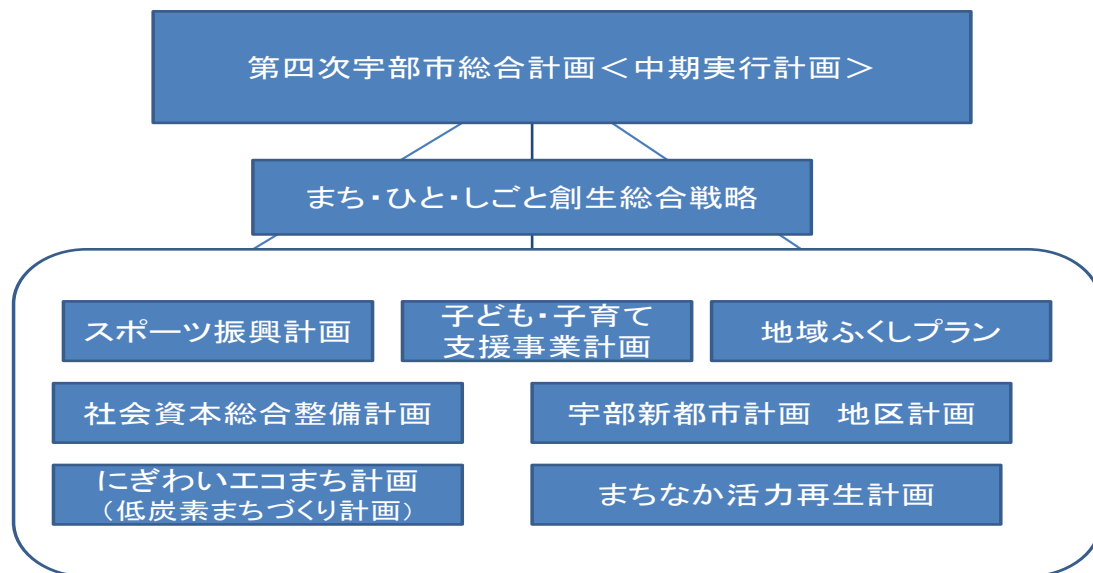


図2 他計画との連携



3 宇部市の地域特性

「地域の暮らしやすさ指標」※¹において、宇部市は、30歳代の夫婦と乳幼児の世帯で「生活利便性」「働きやすさ」「医療・福祉」の項目において総合的に高い評価を受け、全国1,741市区町村の中で第7位の評価を得ました。

（1）環境先進都市

市民・企業・大学・行政が協働し、地球温暖化防止や3Rに積極的に取り組んでいます。子ども服や絵本、スポーツ用品のリユースフェアは大人気です。

（2）交通環境

山口宇部空港が市街地の近くに位置し、東京と1日10往復、片道約90分で結ばれています。レジャーやショッピング、ビジネスシーンで東京を生活圏にできる環境があります。

- ・山口宇部空港（東京便1日10往復 市街地から車で約10分）
- ・新幹線新山口駅（市街地から車で約30分）
- ・市内交通網～バス（宇部市営・船鉄バス・サンデン交通）、J R（宇部線、小野田線、山陽本線）



（３）医療介護施設の充実

市内には185の医療機関（歯科を除く）があり、人口10万対医師数は、449.8人（2012年）と全国平均（226.5人）を大きく上回っています。6つの病院が入院や手術に対応した二次医療病院に指定されているほか、山口大学医学部附属病院が高度・救命など地域の三次医療を担っており、いざという時も安心の医療環境が整っています。

- ・医療病床数 29施設 4,713床（有床診療所含む）
- ・小児科 診療所 13施設、病院 2施設
- ・休日・夜間救急診療所（小児科365日 内科・外科日祝祭日）
- ・介護施設 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
23施設 1,554床
サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等
61施設 1,683床

（４）フルラインナップの教育機関の充実

幼稚園から大学までフルラインナップの教育機関があります。高校は普通科、商業、工業、農業と多岐に渡る分野が学べるほか、山口大学医学部・工学部をはじめ、工業高等専門学校など、より専門的に知識を学べる万全な教育環境が整っています。

- ・幼稚園16園、小学校24校、中学校14校（私立2校）
- ・宇部工業高等専門学校、高等学校（県立5校、私立3校）
- ・山口大学医学部・工学部、宇部フロンティア大学

（５）温暖で雨量の少ない瀬戸内海式気候

山口県の南西部に位置し、平均気温16.0度、年間降水量1,411ミリ（2014年）と、温暖で雨量の少ない瀬戸内海式気候です。北部は豊かな自然があふれ、南部は瀬戸内海に面していることから、山と海の両方の幸に恵まれています。

（６）アートのまち

世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）」を50年以上継続して、2年に1度開催しています。このため、まちなかのいたるところに野外彫刻が設置されており、市民の生活に溶け込んでいます。まさにまち全体が彫刻ギャラリーと言っていいほどで、訪れる人を和ませています。

- ・現代日本彫刻展を2年に1回開催、市内随所に約120点の彫刻を設置



(7) 雇用の促進、起業創業支援

本市の有効求人倍率は上昇傾向にあり、平成28年1月には1.33と過去5年の最高値となっています。今後も、雇用の拡大への取り組みを進めるとともに、うべ起業サポートネットワークを活用した創業支援や、ふるさと起業家支援制度、女性創業セミナーの開催など、起業創業を支援します。

- ・求職者と市内中小企業との情報共有サイト「UBEはたらこBASE」
- ・女性就労相談窓口「ウィメンズワークナビ」
- ・建設業求人・求職相談窓口「建設ワークナビ」

(8) 地域支え合い包括ケアシステムの展開

地域支援員と保健師等で構成する地域・保健福祉支援チームを全24校区に配置し、高齢者の支え合いの仕組みにとどまらず、子どもや障害者など幅広い地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいます。

(9) 子育て支援

待機児童ゼロの保育園などに加えて、小児科として13の診療所と2つの病院があり、そのうち6つの診療所で病児・病後児保育も行っており、保育環境も整っています。また、子育てと仕事の両立支援や子育てしやすい環境の整備、子育てに係る経済的な負担軽減や予防医療の推進など結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援に取り組んでいます。

- ・保育園29園（待機児童ゼロ）、幼稚園17園、認定こども園1園、学童保育52か所、病児・病後児保育6か所
- ・ファミリーサポートセンター、子育て世代包括支援センター等
- ・乳幼児医療費助成制度・子ども医療費助成制度（中学校3年生まで）
- ・産後・生後2週間ヘルスサポート事業、5歳児健康診査
- ・法定外の予防接種助成（ロタウィルス、おたふくかぜ）

(10) 生涯学習・生涯現役の実現

地域や団体で活躍できる次世代を担う人材の発掘・育成を目指した生涯学習の場として「宇部志立市民大学」を開講しています。修了生は、「まちづくりサポーター」として登録し、行政・地域・市民団体が行う各種事業・イベント等で活躍しています。

- ・宇部志立市民大学（環境学部、健康学部、文化学部、大学院）

※¹「地域の暮らしやすさ指標」とは、経済産業省が平成27年3月に作成した生活コストの「見える化」システムにより公表されたもので、このシステムでは全国1741市区町村の暮らしやすさを評価、順位が決定されます。

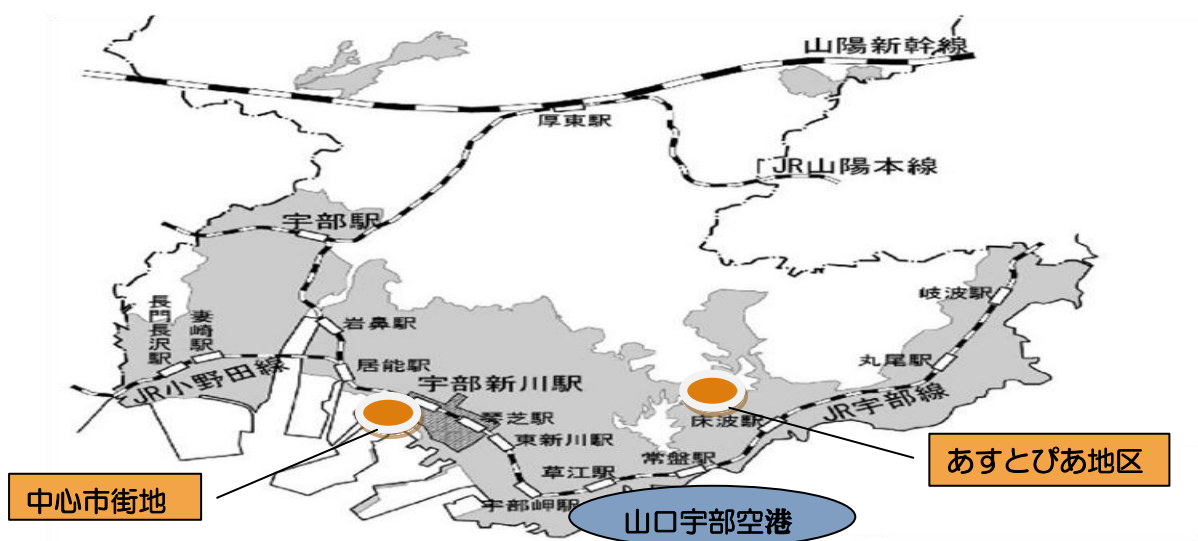
4 宇部CCRC構想のコンセプト

- | | |
|------------|--|
| (1) 移住対象者 | アクティブシニアにとどまらず、さらに子育て世代を含めた様々な世代を対象 |
| (2) 移住の形態 | 大都市からの移住、拠点地域への市域内転居 |
| (3) 生活居住環境 | 既存の高齢者施設や空き家等の活用
民間資金の活用含めた住宅等の整備 |
| (4) 提供サービス | 移住者への支援（お試し居住、雇用、起業等）、健康づくりや社会活動等各種プログラムの提供、継続的ケアなど
創業支援施設や多世代交流スペースの整備 |
| (5) 地域との関係 | 地域支え合いの一員として活躍 |
| (6) 運営主体 | 行政、民間事業者等による共同体 |
| (7) 対象地域 | 市内全域 |

5 2つの拠点地域(モデル地域)

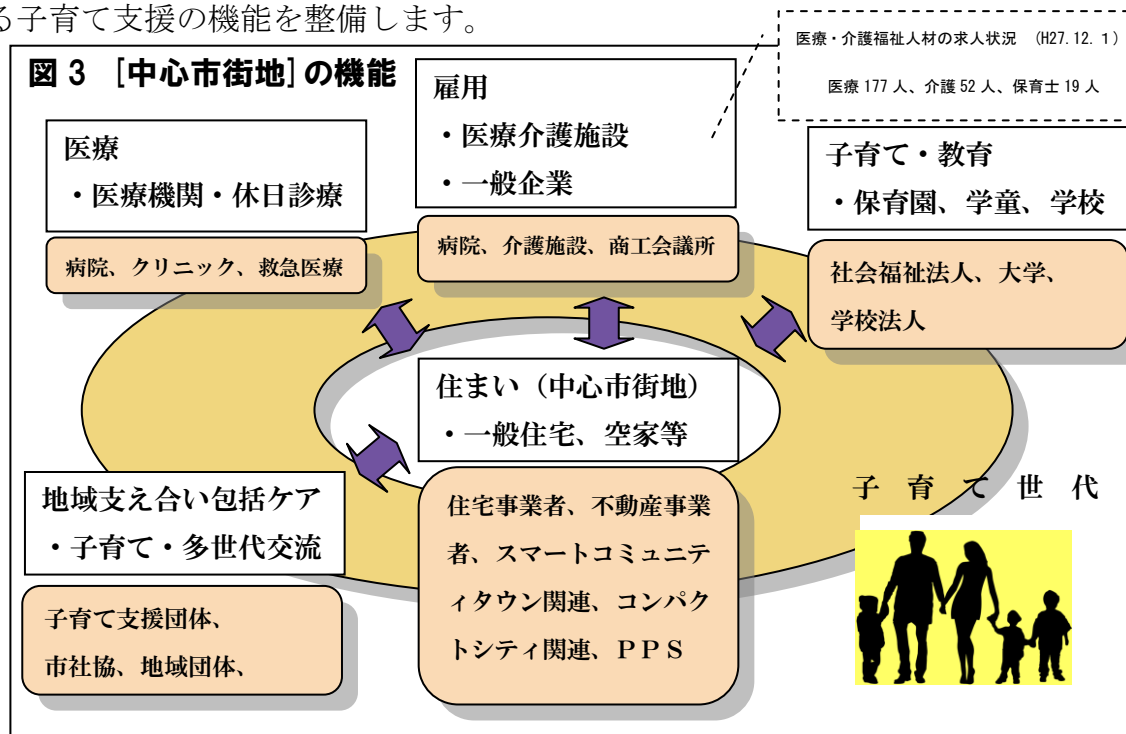
平成27年3月に策定した「宇部市にぎわいエコまち計画(低炭素まちづくり計画)」及び同年6月に国から認定された「宇部市まちなか活力再生計画」に基づき、にぎわいのある、多極ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けて、まちづくりを進めている「中心市街地」と、医療、介護施設に近接し、良好な住宅地である「あすとぴあ地区」をモデル地域として、居住機能を中心に、雇用や子育てなど様々な機能を整備し、生涯活躍のまちづくりモデルの構築に取り組みます。

また、先進的な地域支えあい包括ケアシステムのモデル地域として、子どもから高齢者まで、障害や病気の有無に関わらず、地域で暮らしていくための多世代交流等に取り組むことで、市内の地域支えあい包括ケアの構築にプラスの効果をもたらすと考えています。



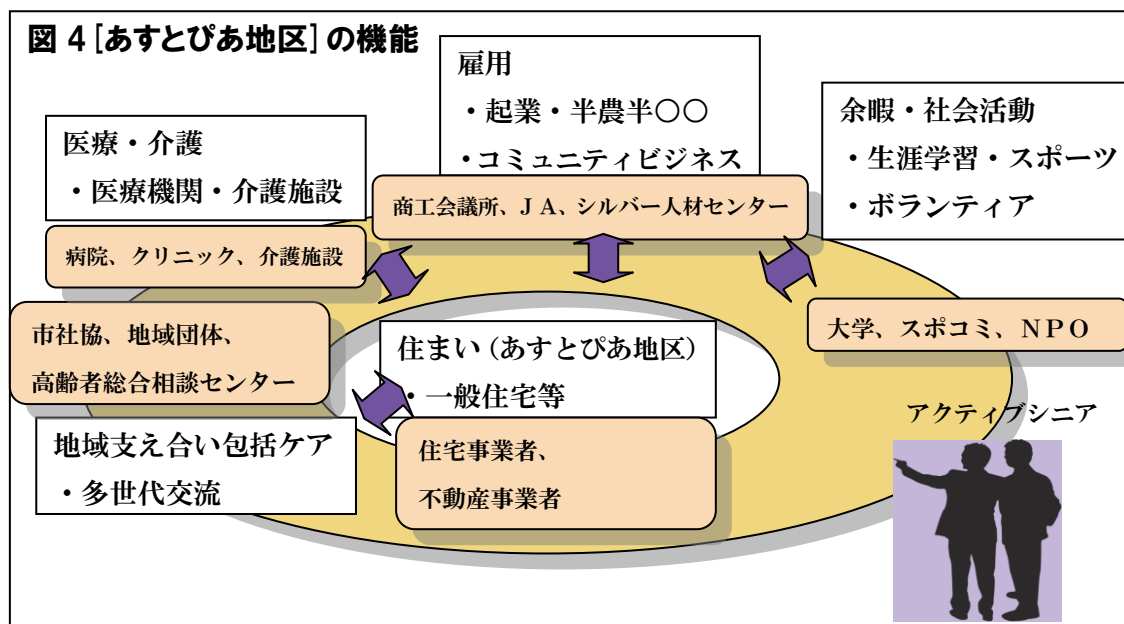
(1) 「中心市街地」

主に医療介護福祉人材として、子育て世代をターゲットに移住を促進し、医療・介護福祉施設や一般企業を中心とした雇用支援と、地域活動と保育園・学童保育等による子育て支援の機能を整備します。



(2) 「あすとぴあ地区」

主にアクティブシニアをターゲットに移住を促進し、既存の生涯学習・スポーツ・ボランティアなどの生きがい活動と、地域との交流など地域支え合い包括ケアの機能を整備します。



(3) 期待されるターゲット像と諸機能

図5 2つの拠点地域(モデル地域)の比較

	中心市街地	あすとぴあ地区
ターゲット像	子育て世代 ・医療・福祉の従事者 ・安心な保育・食・地域を希望する人 ・起業家（ICTなど） ・クリエイティブ人材（アーティストなど）	アクティブシニア ・退職後は趣味を中心にした生活を希望する人 ・これまでの仕事体験を生かす人 ・週末の宇部生活を希望する人
住まい	・市街地中心部の既存ストック（空家）の活用（リノベーション） ・民間の集合住宅 ・コレクティブハウス・シェアハウス(※)の可能性を検討	・空港まで10分 ・民間主導による住宅団地 ・既存ストック（空家）の活用 ・有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅など
雇用	・病院、介護施設、保育所幼稚園等への就労支援 ・起業やクリエイティブ業への支援	・起業、コミュニティビジネス ・ICT人材、技術者などの地元企業への軽就労支援
子育て・教育・社会・生きがい活動	・保育所、病児病後児保育、学童保育 ・子育て世代包括支援センター ・選択できる公私立学校 ・スポーツクラブ、習い事等 ・子どもプラザ	・大学や民間事業者との連携による講座等 ・ゴルフ、テニス、釣り、ハイキング、家庭菜園等の余暇事業 ・ボランティア・コミュニティ・NPO活動
地域支えあい包括ケア	・子育て支援の声かけと食提供体制 ・子どもを中心とした多世代との交流場所、交流行事 ・子どもに係る地域団体による支援	・地域での役割を担う一人一役の生きがい活動 ・拠点地域での交流 ・地域での見守りネットワーク
医療・介護	・小児科クリニック、休日・夜間救急診療所、山口大学病院 ・健康ビジネス事業 ・介護相談機能付きコンビニエンスストア	・クリニック、宇部興産中央病院、セントヒル病院、山口大学病院 ・在宅医療連携拠点病院 ・高齢者総合相談センター ・先駆的な保健・医療・福祉の連携

※コレクティブハウスとは、それぞれが独立した専用の住居と居間や台所などみんなで使ういくつかの共用スペースを持ち、家事や子育てなど生活の一部を共同化する合理的な住まいです。

※シェアハウスとは、一つの賃貸住宅を複数人で共有して暮らす住まいです。防犯面を強化した女性向けシェアハウス、介護サービス付きの高齢者向けシェアハウス、入居者の趣味や関心などに合わせたコンセプト型シェアハウスなどがあります。

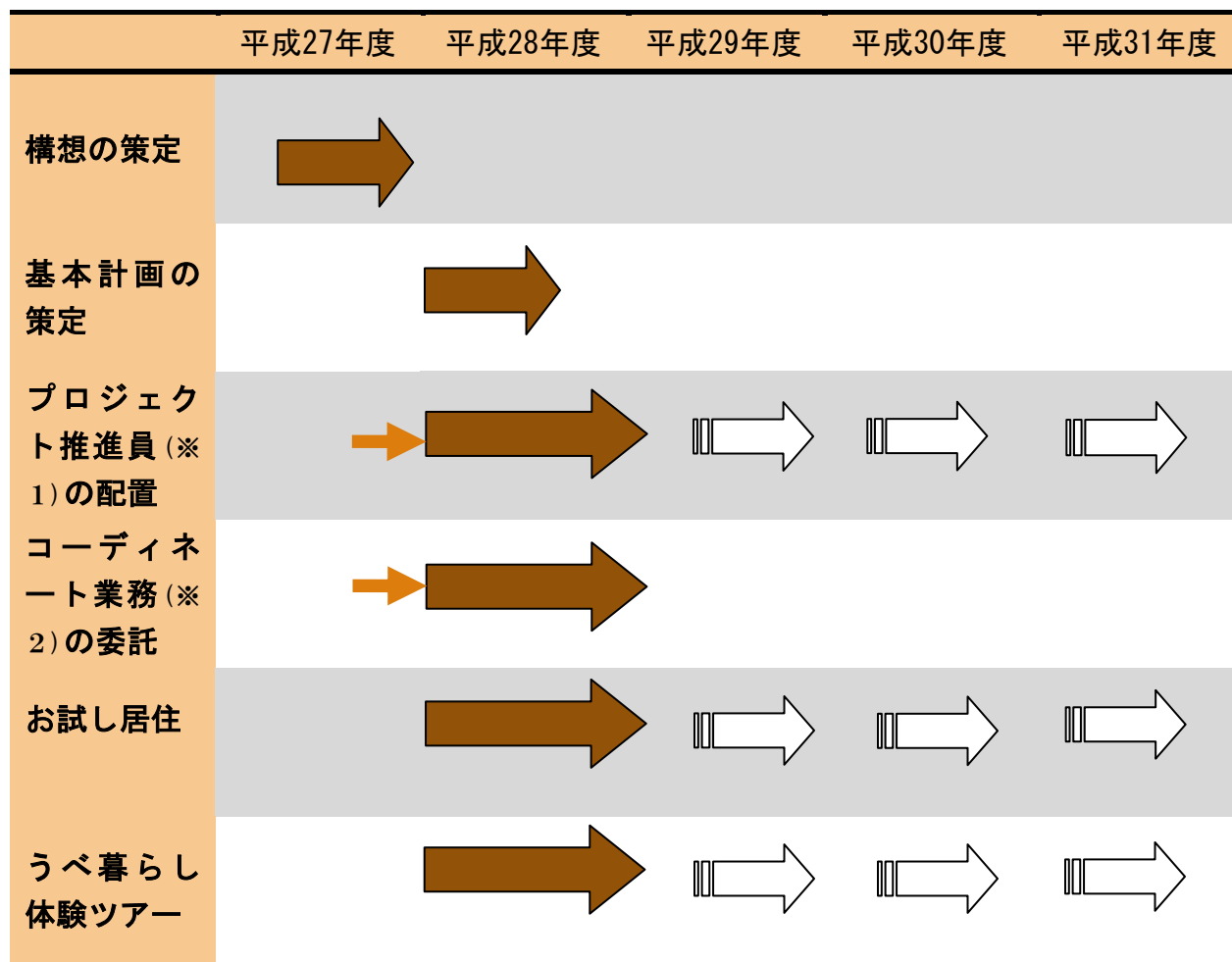
6 宇部C C R C構想の推進に向けた連携

宇部C C R C構想を今後推進するに当たっては、行政のみならず、住民や市民団体、高等教育機関、関係機関、民間事業者など多様な主体が連携し合うことが重要となっています。かつて、本市が苦難の時代を乗り越えるため、情報共有と対話により、関係者が解決方法を見出した「宇部方式」を呼び起こし、コミュニティの再生、わがまち創生に向けて取り組んでいきます。

図6 関係者別の主な連携協力の例

関係事業者等	主な連携協力例	説明
商工事業者	雇用、安心安全な食の提供 等	
農協・漁協	雇用、半農・半漁支援 等	
観光業者	情報発信 等	お試し体験
金融機関	資金調達 等	融資
住宅関連業者	既存ストック空家の活用、民間主導の集合住宅・住宅団地、コレクティブハウス・シェアハウス 等	住居形態の模索
I C T関連業者	雇用、健康ビジネス事業 等	P P S事業との連携
スポーツ関連業者	スポーツクラブ 等	スポーツコミッション
教育関連事業者	習い事 等	
医療機関	雇用、休日夜間救急医療 等	
大学	講座 等	大学連携
介護事業者	雇用、相談、連携による支援 等	
社会福祉法人等	雇用、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅 社会貢献等	お試し体験
地域団体	地域での一人一役、地域での交流、見守り、子ども支援 等	地域支え合い包括ケアシステム

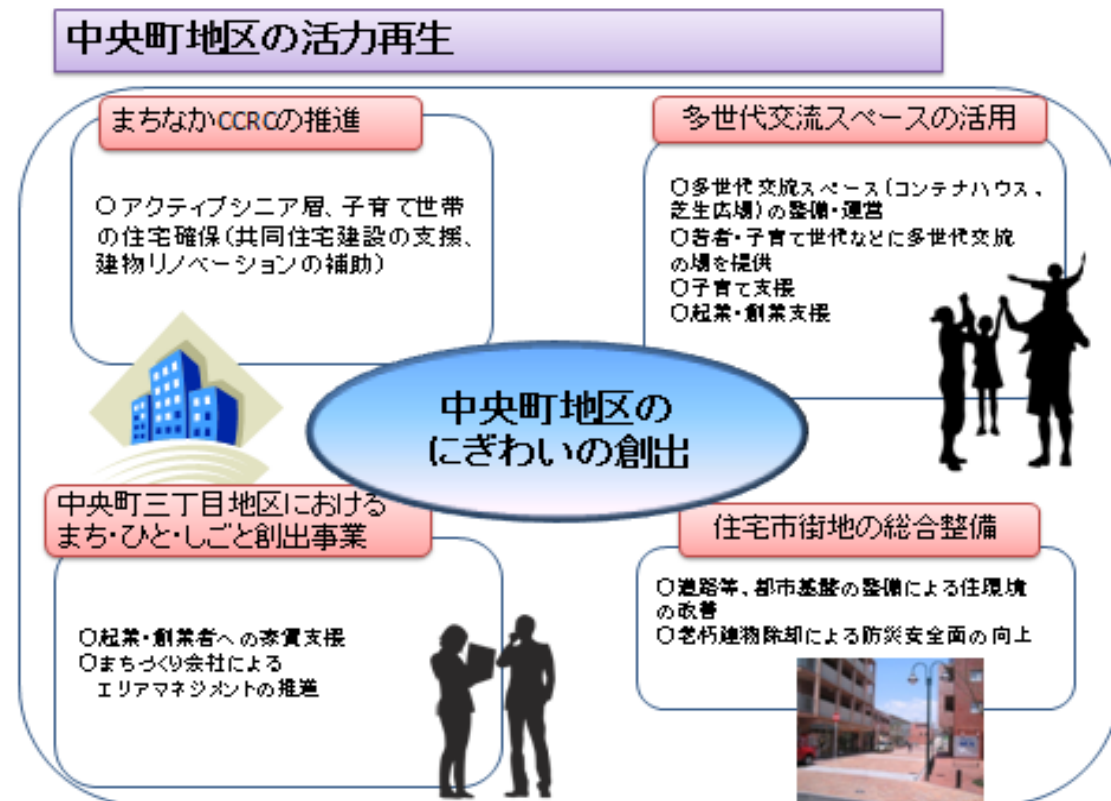
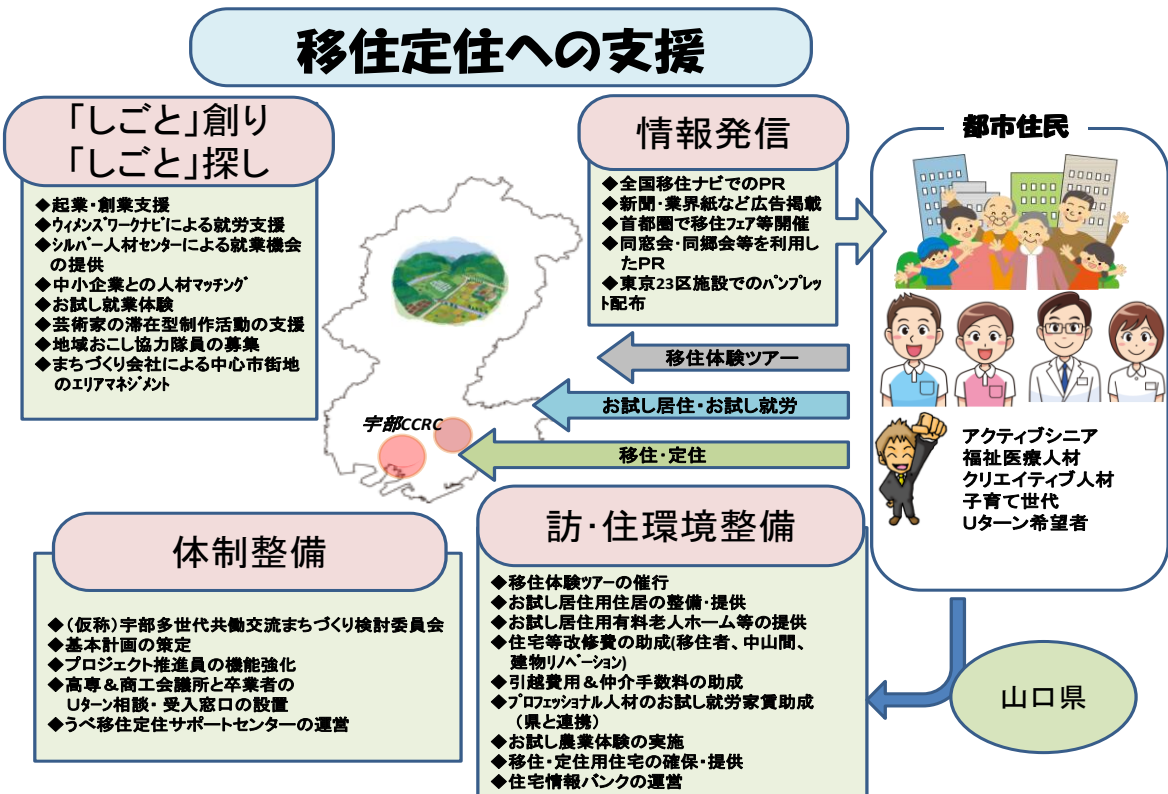
7 今後のスケジュールの概要



(※1) 「プロジェクト推進員」広報活動、移住支援と生活支援、関係機関との調整等業務を行う。

(※2) 「コーディネート業務」基本計画策定や業務推進のサポート業務等を行う。

8 参考



<移住・定住相談窓口>

宇部市総合政策部 移住定住推進課

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号

TEL 0836-34-8480 FAX 0836-22-6008

E-mail iju@city.ube.yamaguchi.jp